

発行
中平ひとし君を
育てる会

発行者
梶田民夫
久慈市新中の橋4-37-6
電話0194-61-1630
FAX0194-61-1631

情熱と行動の31才 明日は青空

私がめざすもの

なかたい
中平ひとし

今、県・市町村のあり方・地方制度のあり方が大きく変革しようとしています。

最近よく「地方分権」とか「地方主権」という言葉を耳にします。この言葉に隠されている意味を理解しようとすればするほど、地域づくりに個性・特性が求められる時代が予想されます。すなわち「自分たちの暮らしは、自分たちの知恵で」という、自治制度の方向が見えてきます。

「国県の動向を見極めながら対処する」が常套語であった地方自治は、これからは通用しない時代がすでにきています。しかし、それだけに地方議会の役割は益々重く、議員の責任が大きく問われる時代になっていきます。

この度県政に臨むにあたり、新しい発想と価値



観て県北に活力を！」と主張させて戴き、変革する時代に対応する心構えとしたところであります。私の政治の師・小沢一郎先生は、「少子高齢化、経済のグローバルイズムなどにより、地方制度を根本から変えなければ、日本の繁栄は持続できない」と警告しております。

地方にも共通する課題と受けとめ、地域づくりは「①地方主権・社会の実現」を基本的目標に掲げ、県政に臨みます。

②地場産業の振興 ③新しい農林水産業の構築

④未来を拓く教育の推進

⑤次世代につなぐ自然環境の整備

⑥安心して生活できる地域づくり

以上の考え方については、すでにお配りしました【会報、リーフレット】に掲載させていただきました。中でも⑥は、誰もが生活する上で疎んじてはならない課題です。県北地区の福祉基盤は、比較的良好といわれています。しかし、医療施設・資源にとぼしい地域です。わけても介護制度がしかれて三年余、家族がとまどい、介護認定者が施設からあふれています。介護の環境整備と併せ地域が相互に支援するボランティア活動の拡充が望まれます。

また④は、若い人たちが地域に愛着と誇りをもち伝統行事など多様性を育む環境整備や体系づけられた生涯学習（大学の公開講座など）の盛んなまちづくりが望まれます。また、スポーツ活動を通じて若年層の交歓の場が求められています。

これら施策の推進のため、地域の声を県政に反映して参ります。

育てる会の動き

本町事務所開き行われる

四月四日告示・十三日投票の本番にそなえ、去る二月二十三日本町で事務所開きが行われました。

前日來の春雪に見舞われましたが、育てる会の精力的な除雪作業で駐車場の確保もなり、午後四時の神事にはじまり、同四時三〇分より隣接するホテルで交流会が行われました。

四月四日告示・十三日投票の本番にそなえ、去る二月二十三日本町で事務所開きが行われました。

急きよかけつけて戴きました衆議院議員工藤堅太郎先生、参議院議員平野達男先生代理・宍田秘書、自由党久慈支部支部長中塚佳男氏、同党幹事長中平浩志氏、樺の会久慈支部長山王繁男氏のほか育てる会顧問、各地区支部長さん方の出席をいただき盛会裡に日程を終えることができました。

同日の交流会は見込みをはるかに上回り、会場からあふれるお客様、会

員の参加で、主会場の外に急きよテーブルを設けるなどのハプニングもありました。

交歓の席では、育てる会梶田会長よりあいさつのもと、中平ひとし君より謝辞「この支援にお応えするため全力を尽くして勝ち抜きます」との決意表明がありました。続いて来賓を代表し工藤堅太郎先生より、ひとし君の修行時代にふれてお祝いのあいさつがあり、会

交歓会寸描

☆ジュースを飲みながらの交流会。

四年に一度の巡り合わせに旧知を懐かしむ交歓の場にふさわしい風景がそこそこに見られました。

☆つい五日前の「女性の集い」の場とは違ったようで会場ぎっしりの中で

場いっぱい参加で熱気につつまれました。



女性群が片隅に追いやられた格好になり、控えめの姿が見受けられました。☆候補予定者と同年代層が、お姉さん、おじさん方に圧倒されてか、階段ルームの片隅でクラス会さながらにハシヤグ光景がありました。

四力所の事務所体制なる

中の橋事務所および野田事務所は、新年早々に開設したところです。このたびの本町事務所開きと、侍浜地区北野に今月初めに連絡所の設置がなりました。このことにより久慈地区および野田地区と都合四力所の事務所、連絡所の設置をすることができました。いよいよ残すところ一カ月、臨戦態勢がなりました。事務所および連絡所は次のとおりです。

本町事務所	TEL	53-0111
	FAX	53-0136
中の橋事務所	TEL	61-1630
	FAX	61-1631
野田事務所	TEL	78-4120
	FAX	78-4121
侍浜事務所	TEL	58-2107
	FAX	58-2107
宇部事務所	TEL	56-2028
	FAX	56-2028

会員のみなさんの交換の場が整いました。近くにお越しの折は、気軽にお立ち寄りください。

女性部の集い開催される

二月二十八日、市内のホテルで開催された女性部の集いは、予想を上回る盛況となりました。各支部から参加した女性群いっばいの華やいだ雰囲気となり、テーブルが少なくなりホテル側の手際よきで急きょ手配する場面もありましたが、会は予定どおり開催されました。



交流会は、育てる会の梶田会長のあいさつ「中平均君はこれまででないタイプ。無垢の原石と思っております。高い志と情熱を持ちあわせている青年です。ひとし君の人となりについて理解いただく機会にして頂きたい」。本人より「多数のみなさんにお集まりを頂きありがとうございます。みなさんの熱気に圧倒されそうですが、行政経験、秘書経験を生かし何とかふるさとのためにじかに役立ちたいと思います。今日に至っております。」ご声援をお願いし、この後、各地区から集まった代表者同志の交流会は、時間を惜しむかのように続いた。

交流会に参加して

女性部長 木下 ツキ
(大尻地区)

ジュースで乾杯のあと、交流会は異常な盛り上がりでした。ひとしさんが、テーブルを移動するたびに、何かあったのか？と思うほどのざわめきもあり、三十一才の若さのせいか圧倒される場面もありました。特に接待役を努めた育てる会の役員の方々が、コーヒー、ジュースをせっせと運んでサービスする姿もあり、女性天下の夕べとなりました。

また、事前に「ケーキを食べる会」と聞いていたましたが、ケーキが役員の方によりそれぞれのテーブルに運ばれるたびに、一斉に歓声があがりアツというまに品切れになり、あわてて追加した裏側の事情もあったようです。

若さは売り物の中平さんですが、「三十一才独身」と聞いてどつと歓声があがるなど盛り上がった交流会でした。

ひとしさん！……必ず勝ち抜いて、女性のみなさんの期待にこたえて下さい。

若さと行動力に期待する

中平均君は、私の秘書として政治の研鑽を積んで参りましたが、厳しい時代を迎えた今こそ、ふるさとのため粉骨砕身働きたいと強く決意し、立ち上がったところであります。中平君は誠実そのもの、そして行動力のある若き熱血漢であり、必ずや皆様のお役にたてるものと確信致しております。

私も共に皆様のご期待にお応えするよう努力して参りますので、どうか中平君をお育て頂き、特段のお力添えを賜われますよう、何卒よろしくお願い致します。

自由党党首 小沢 一郎



中平ひとし君を推薦します

よく耳にする「自分ひとりではどうなるわけはなく、誰が政治をやっても変わるわけではない」といわれますが、このような時勢こそ一人ひとりの意識転換が求められています。変わることを恐れ、旧来型の選挙をしてはならないと思ひ立ちましょう。

地区のお偉い方が応援している人を推さなければ……という感覚では、いつまで経つても閉塞感から脱却できないのでは……。すなわち旧来の感覚では、選挙する側にも責任が問われかねない状況にあります。

地方の時代と言われています。国の財政が逼迫し、自分のことは自分で……の思想がいやおうなしの時代が目前に来ているのではないのでしょうか。

その最たる例は、合併議論ではないでしょうか。岩手はなかなか時流に乗れず、われわれ住民の将来はどうなるのか……。

悶々としている昨年夏場に中平均君が地区を精力的に回り、マニフェスト張りの「県北は四年で変わります」を掲げ清新さを覚えました。

私たち侍浜支部は、若い支援者の組織です。大きなうねりを力に、中平ひとし君の勝利に向けて応援しています。地区の皆様には格別のご協

力をお願いします。

育てる会侍浜支部長 菅原清孝



均君に夢を託す

均君を語る時、どうしても高校時代の応援団員として頑張っていた頃を思い出します。放課後の応援団の練習と言えばよく嫌われたものですが、下級生を指導し、あるときは甲高い声を張り上げ、シゴきめいた場面を記憶しています(笑い)。その均君が、小沢一郎先生の下でシゴかれて数年後出会ったときには、しっかりした信念と志を持ち大きく成長していることを実感しました。高校時代の彼と、だぶらせるとき、政治

への道を目指すなんてツユほどの予感もありませんでした。今は、お父さん、おじさん、クラスの人たちに支えられ懸命に活動している様子を見て、「県会議員候補予定者になりきってる」と頼もしくみえます。

育てる会の会長さんは「均君は磨けば輝く可能性を秘めている」と訴えていました。同じ年代の三十一才の若さで、きつと県北の閉塞状態を打破してくれるはずです。均君に夢を託そうと思う気持ち、日ごとに高まっています。頑張ってください。

高校時代の同級生 S・H

築港の完成をみたい

ひとしさんがこの問家にきました。「明日は青空」を読みました。生きている間に久喜浜の築港が完成するよう頑張っていただかと思えます。それに町内の道がせまくて冬場はあぶないです。久喜だけを考えるとわけにもいかないと思ひますが忘れないでください。健康に気をつけてください。(聴取による)

久喜に住むお婆さん

ご意見およせ下さい

編集室

中平均プロフィール

氏名 中平均
生年月日 昭和46年12月3日
現住所 〒028-0071岩手県久慈市小久慈町32-2-1
電話0194-52-3176
連絡先 〒028-0023岩手県久慈市新中の橋4-37-6
中平ひとし君を育てる会事務局
電話0194-61-1630 F A X 0194-61-1631
http://www.nakatai.net
e-mail: hitoshi@nakatai.net

学歴・職歴
平成2年3月 岩手県立久慈高等学校卒業
平成6年3月 岩手大学人文社会科学部卒業
平成6年4月 建設省東北地方建設局入省
平成11年1月 同省 退職
平成11年3月 衆議院議員 小沢一郎秘書
現在に至る。